

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成10年 特許願 第137175号
起案日	平成13年 3月 2日
特許庁審査官	吉田 隆之 9077 5X00
特許出願人代理人	高橋 詔男 (外 3名) 様
適用条文	第29条第2項、第29条の2

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

A. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

1. 特開平6-85842号公報
2. 特開平7-154424号公報
3. 特開平9-27812号公報 ✓

■請求項1, 2, 4

引用例1-3には、いずれもクラス情報レジスタにサービスクラスを設定する事により、共通バッファを論理的に分割して管理するATM交換機が記載されている。

続葉有

続 葉

■請求項3

引用例1-2には、論理的に分割されているメモリの割り当てをダイナミックに行うことも記載されている。

B. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願の日前の特許出願であって、その出願後に出願公開がされた下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同じではなく、またこの出願の時に、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないもので、特許法第29条の2の規定により、特許を受けることができない。

記

1. 特願平10-163319号(特開平11-17708号, 優先日1997年6月11日)
2. 特願平9-281930号(特開平11-122257号参照)

■請求項1-4

先願1には、優先順位をもつ論理バッファのサイズを動的に変化させるATMスイッチが記載されている。

■請求項1, 2, 4

先願2には、FIFO割り当てテーブルにより出力や優先クラスの割当を行うATM交換機が記載されている。

上記の他に拒絶の理由が新たに発見された場合には、再度拒絶の理由が通知される。

この拒絶理由通知の内容に対する質問、および面接の希望があれば、
特許審査第四部データネットワーク：吉田(Tel:03-3581-1101内線3594)まで

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 H04L 12/56, 12/28
- ・先行技術文献 特開平10-79979号公報
特開平9-8812号公報

発送番号 067738

発送日 平成13年 3月13日 3 / 3

続 葉

特開平3-240338号公報

特公昭56-32819号公報

(メモリの領域を動的に変更する技術)

なお、この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。